

2026(令和8)年8月27日
報道発表資料[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
広報担当: 山本、山形、儀三武

<ロームシアター京都10周年記念事業>

土田英生 作・演出

新作朗読劇『洛中洛外に綿がふる』



京都の街を舞台に繰り広げられる物語。

京都の未来に希望が持てるような作品へ

2026年12月20日(日)14:00 ロームシアター京都 サウスホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 山本、山形、儀三武

TEL: 075-771-6051(10:00~17:00) FAX: 075-746-3366

E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp <https://rohmtheatrekkyoto.jp/>

■企画概要

洛中洛外に綿がふる

未来なのか、パラレルワールドなのか…

京都の街には何年も前から綿が降り始めた。はじめは皆が驚き、原因について様々な推測がなされたが、結局はよくわからなかった。ただ、人は次第にその非日常に慣れてしまい、すっかり当たり前のこととして受け入れていた。綿に関する土産物も生まれ、今や観光資源の一つになっている。しかし…ある日、降っている綿に変化があった。研究者の中には京都が壊滅すると警告をする人もいる。パニックになる者、いつもの日常を送る者…。

果たして京都はどうなってしまうのか。

京都の特別な1日を、高校生、会社員、観光客、研究者など様々な人たちのやり取りで紡ぐ、総勢30名による朗読劇。

■出演者について

10周年記念事業のフィナーレを飾る作品をともにつくる出演者を募集。

さまざまな人と出会える舞台を目指しています。

ロームシアター京都10周年記念事業の最後を締めくくる本作について、出演者募集を行いました。応募者総数192名からオーディションを実施し、あらかじめ決定していた出演者を含む30名の出演者が決定しました。

出演者一覧

本多力、安部夏実、安部洋花(あざつねひろみ)、石村年啓、板垣大稀(劇団ケツペキ)、伊藤芳樹、今井冬菜(幻灯劇場)、禹咲希、片山寛都(ゆうそど。)、川原崎詩乃、黒木正浩、小松優音、小森里子、合田団地(努力クラブ)、佐伯龍(劇団ヘラヘラ企画)、酒井信古(人間座)、佐々木穂高(柿喰う客)、真田りか子、重実紗果、須川弥香、田頭若奈、たきいみき、田辺剛(下鴨車窓)、ちゃ〜り〜(フガフガLaboratory)、長田美穂子、はたもとようこ(桃園会)、武士岡大吉、皆地恵実、むらたちあき(劇団不労社)、りこ(芸術企画夢と祈り)

※出演者プロフィールはP5～10に掲載

■土田英生プロフィール

土田英生(つちだ ひでお)

劇作家・演出家・俳優／MONO代表

愛知県出身。1989年に「B級プラクティス」(現MONO)結成。1990年以降全作品の作・演出を担当する。

1999年『その鉄塔に男たちはいるという』で第6回OMS戯曲賞大賞受賞。2001年『崩れた石垣、のぼる鮭たち』(文学座)で第56回芸術祭賞優秀賞受賞。2003年文化庁新進芸術家留学制度でロンドン留学。

映画『約三十の嘘』『初夜と蓮根』、テレビドラマ『崖っぐちホテル!』など脚本多数。近年の舞台では『チェホフを待ちながら』、『月曜日の教師たち』などを手掛ける。



■公演情報

開催日時

2026年12月20日(日)14:00開演(13:20開場)

会場

ロームシアター京都 サウスホール

チケット情報

全席指定

一般:2,000円

会員特別価格:1,800円

18歳以下:1,000円

※会員:京都コンサートホール・ロームシアター京都Club、京響友の会、サポーター・パートナー会員

※サポーター・パートナー会員についてはこちら <https://rohmtheatrekkyoto.jp/supporter/>

発売日

一般:8月30日(日)

会員先行:8月23日(日)

取扱い

・オンラインチケット

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

・ロームシアター京都チケットカウンター

窓口・電話 TEL: 075-746-3201

(10:00~17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)]

・京都コンサートホールチケットカウンター

窓口・電話 TEL: 075-711-3231

(10:00~17:00、第1・3月曜休 ※休日の場合は翌平日)]

・チケットぴあ

<https://t.pia.jp>

Pコード:544-128

・イープラス

<https://eplus.jp>

企画製作

ロームシアター京都

協力

NPO法人京都舞台芸術協会

主催

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

■観劇サポート

・車椅子でご来場のお客様へ

本公演では車椅子席のご用意がございます。座席位置・提供数に限りがございますので、下記までお問合せください。なお、同伴の介助者がいらっしゃる場合もあわせてご相談下さい。

車椅子のお申込・お問い合わせ:

ロームシアター京都チケットカウンター TEL: 075-746-3201

・福祉専用駐車場のご利用ならびに車椅子のお貸出しも承っております

・きこえない・きこえにくいお客様へ

ヒアリンググループ

対応のお席がございます。磁気コイル付補聴器・人工内耳を装用の方に、舞台音声を伝える機器をご用意しています(専用受信機の無料貸出)。

座席位置・提供数に限りがございますので、ご予約・お問合せをお願いします。内容を確認後、こちらから折り返しご連絡いたします。

ポータブル字幕機

ポータブル字幕機の貸出がございます。(台数制限あり)

福祉専用駐車場、ヒアリンググループ、ポータブル字幕機のお申込・お問い合わせ:

申込方法:

件名「洛中洛外に綿がふる 観劇サポート」

①お名前

②連絡先

③希望するサポート内容

④利用人数

ご予約・お問合せ先:

ロームシアター京都

TEL: 075-771-6051 (10:00 ~ 17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

FAX: 075-746-3366

Email: accessibility[★]rohmtatrekyoto.jp ※[★]は@に変えてください

・みえない・みえにくいお客様へ

13:35より舞台セットなどの事前説明をスタッフが行います。

詳細はロームシアター京都WEBページをご確認ください。

<https://rohmtatrekyoto.jp/event/143734/>

■ロームシアター京都10周年記念事業

記念事業実施期間:2025年10月31日~2026年12月31日

多彩な事業をお届けし、皆様とともに京都から「劇場文化」を育んできたロームシアター京都は、

2026年1月10日に10周年を迎えました。たくさんの「ありがとう」と、これからの「わくわく」を共有する特別なラインアップをどうぞお楽しみください。



■出演者プロフィール



本多力(ほんだ・ちから)

立命館大学在学中、劇団「ヨーロッパ企画」に99年から参加。映画『サマータイムマシン・ブルース』(05)をきっかけに映像作品に出演。現在テレビ・映画・舞台・ナレーションなどジャンルを問わず活動中。近年の主な出演作にテレビドラマ「クロスロード」(EX)、「東京 P.D.」(CX)、NHK 大河ドラマ「光る君へ」などがある。



安部夏実(あべ・なつみ)

2007年生まれ。北海道出身。大学生。立命館慶祥中学・高等学校で演劇部に所属し、全道大会全国大会への出場を経験。2026年から京都での演劇活動をスタート。



安部洋花(あべ・ひろか)／あざつねひろみ

1994年大阪府生まれ。NHK 連続テレビ小説「べっぴんさん」「おむすび」、映画「国宝」などに出演。舞台を中心に映像・ラジオまで幅広く活動。特技は詩吟、日本舞踊。詩吟は全国大会優勝経験あり。和服と白衣がすごく似合う。



石村年啓(いしむら・としひろ)

今年3月に40年間のサラリーマン生活に終止符を打ちましたが、東京五輪や大阪・関西万博、今年のアジア・パラ大会とボランティア活動に邁進中！世界中の人と関わる中で学んだ「伝える楽しさ」を、今度は初めての朗読劇にぶつけます。ドキドキのご近所での初舞台ですが、皆さんの心に届くよう笑顔でがんばります！



板垣大稀(いたがき・だいき)／劇団ケツペキ

京都大学演劇サークル劇団ケツペキ所属。主に役者、演出として活動。同サークルの同期と共に演劇団体であるジブレ・カンパニーを旗揚げ。今年8月、第一回公演を行う。



伊藤芳樹(いとう・よしき)

不登校や発達障害といった悩みを抱える子どもたちと関わるワークショップにボランティアとして参加したことをきっかけに演劇を志し、近畿大学舞台芸術専攻へ進学。水沼健と竹内銃一郎に劇作と演出を学ぶ。約10年の休止を経て活動を再開し、現在も劇作・演出・出演を続けている。



今井冬菜(いまい・ふゆな)／幻灯劇場

2013年、幻灯劇場の旗揚げに参加。

俳優として『鬱憤』『Play is Pray』『フィストダイバー』『Waltz for Daddy』等多数の舞台に出演するほか、オーケストラのコンサートで小説の朗読パフォーマンスに出演するなどしている。



禹咲希(う・そい)

2006年生まれ。京都府出身。高校時代に演劇を始め、主に友人の川合うたの作品に出演。舞台映える身体と、独特の魅力のある居方、大砲のようなエネルギーの演技が強みだが、身体と思考をうまく接続できないことが大きな課題。最近バレエを習い始めた。



片山寛都(かたやま・ひろと)／ゆうそーど。

劇作家・演出家・俳優。1998年生まれ。千葉県出身。京都府在住。2022年、自身が劇作・演出する場として、ゆうそーど。を立ち上げ、作品を発表する一方、俳優としても活動している。主な出演作に、筒井潤「墓地の上演」、南河内万歳一座「予言者・H」など。



川原崎詩乃(かわはらさき・しの)

1999年生まれ、滋賀県出身。社会人経験後に演技を始め、現在は京都府を中心に映像・舞台・テーマパークにて役者として活動している。好奇心旺盛。特技は三点倒立、趣味は写経。



黒木正浩(くろき・まさひろ)

主に自主映画を制作。京都でのイベント、ラジオ、テレビに出演。動画編集、脚本、演出家/俳優。



小松優音(こまつ・ゆの)

2003年2月1日生。多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科演劇舞踊コース在学中に俳優・振付・演出として様々な作品に出演。ユニークな役からプレーンな役まで自分にしか出せない幅広い表現を磨いてきた。現在は俳優として舞台・映像で活動中。



小森里子(こもり・さとこ)

玉川大学演劇専攻科、円演劇研究所を経てダンスを始める。「星の王子さま」(白井晃演出、近藤良平振り付け)でダンサー役、日生劇場 狂言オペレッタ「くさびら」でキノコ役などに出演。子育てを機に、小学校の読み聞かせサークルで、絵本の読み聞かせを始めて10年になります。



合田団地(ごうだ・だんち)／努力クラブ

1987年生まれ、大阪府高槻市出身。努力クラブ所属。作家、演出家、役者。

高校で演劇部に入部したことを機会に演劇を始める。佛教大学劇団紫を経て、2011年努力クラブを結成。以降、京都を中心に活動している。『涼しい。』で第六回人間座「田畑実戯曲賞」受賞。



佐伯龍(さえき・りょう)／劇団ヘラヘラ企画

2014年より演劇を始める。主な出演は壁ノ花団『代数学』(作・演出 水沼健)・21世紀美術館『家電の王子さま』(作・演出 ピンク地底人3号)など。2022年に旗揚げした劇団ヘラヘラ企画では劇作家・演出家としても活動。将来は肩で風を切る剣道場を開きたいと考えている。



酒井信古(さかい・しのぶ)／人間座

主に役者。京都大学公認サークル劇団ケツペキ平成16年度入団、演劇をはじめ。劇団火群主宰や劇研アクターズラボ+このしたやみ劇団そばえのラボメンバーを経て、令和5年より人間座に所属。発起塾芝居語り講座講師、平成28年度から現在に至るまで。



佐々木穂高(ささき・ほたか)／柿喰う客

京都府出身。劇団柿喰う客所属。主な出演作に、柿喰う客『青春部隊』、日本の劇団『その鉄塔に男たちはいるという』、映画『枯れ木に銃弾』『世界の終わりより』など。舞台・映像ともに公開・上演待機作を控える。土田英生作品への参加は本作が2度目。



真田りか子(さなだ・りかこ)

1998年、滋賀県生まれ。新国立劇場演劇研修所第18期修了。修了後は舞台・映像を中心に俳優として活動。主な出演作は「美しい日々」(2025)「ロミオとジュリエット」(2024)朗読劇「風が吹くとき」(2024)など。



重実紗果(しげみ・さやか)

京都市在住。京都造形芸術大学を卒業後、現在は関西を中心に俳優として活動している。過去の出演作:東京デスロック「再生 三重 ver.」ハイバイ「ワレワレのモロモロ 名古屋編」ブルーエゴナク「たしかめようのない」地点「知恵の悲しみ」「巨匠とマルガリータ」など。



須川弥香(すがわ・みか)

京都出身。舞台・映画・CMへの出演多数。2010年東京にて「おでこ」を結成、演出・脚本・出演を担う。古事記、近代文学、岸田國士などをモチーフに創作を行う。2018年より携帯圏外の大自然キャンプ場「芦見谷芸術の森」運営＝京都京北。同地で野外舞台芸術祭を不定期に開催している。



田頭若奈(たがしら・わかな)

広島県出身。中学・高校で舞台芸術を専攻。現在は京都で建築を学ぶ学生です。人の感情に興味があり、心を動かす空間づくりを目指しています。今回、ロームシアター京都 10 周年を彩る作品に出演できることを光栄に思います。劇中の言葉と向き合い、心を込めてお届けします。



たきいみき

2001 年～ク・ナウカシアターカンパニー所属。2006～2016 年静岡県舞台芸術センター所属。2016 年以降はフリーランスの俳優として様々な活動を行う。2026 年は、鳥の劇場、BACK ATTACKERES、SPAC、カクシンハン(ルーマニア)、紙魚(韓国)、朗読自主企画など、国内外の作品に出演。



田辺剛(たなべ・つよし)／下鴨車窓

劇作家・演出家。下鴨車窓代表。『その赤い点は血だ』で第 11 回劇作家協会新人戯曲賞、『旅行者』で第 14 回 OMS 戯曲賞佳作を受賞。2006 年文化庁新進芸術家海外留学制度で韓国に一年間滞在。『きみがしらないひみつの三人』が令和元年度児童福祉文化財特別推薦作品に選出。



ちゃ〜り〜／フガフガ Laboratory

福井生まれ、福井育ち。主に福井で活動中。野球少年が、大学在学時にミュージカルの舞台に立ち、舞台活動始める。以後、県内外のミュージカルに出演し、その後芝居の世界へ。所属劇団以外には、楽生気分という表現ユニットを主宰。落語もやっています。



長田美穂子(ながた・みほこ)

演劇再開後 26 年になります。現在フリーで映像、舞台他多数出演。土田作品出演は 2011 年『空と私のあいだ』以来 15 年振り(WS 発表会除く)錚々たるキャストの皆さまとご一緒でき嬉しく思っています。どんな作品になるのかとても楽しみです。



はたもとようこ／桃園会

長崎県佐世保市出身。俳優。桃園会旗揚げ(1992年)から参加。現在は故・深津篤史の後を継いで劇団の代表を務めている。2005年第7回、2014年第16回、2021年第23回関西現代俳優賞女優賞(現在は大賞)を受賞。



武士岡大吉(ぶしおか・だいきち)

劇作家・演出家・俳優の週末演劇人。普段は京都市内の保育園で働く傍ら、創作活動に励む。2021年「路線図」で第4回田畑実戯曲賞受賞。骨折企画「せびろ」では脚本・演出を務める。



皆地恵実(みなち・えみ)

小学生のときに人前で物語を語る楽しさに目覚め、その後、音楽やアナウンスを学び、舞台やラジオから人に語り掛けることに喜びを感じている。京都市在住。



むらたちあき／劇団不労社

1992年生まれ、山口県出身。俳優・制作。大阪大学公認サークル「劇団六風館」にて演劇活動を始め。2018年より劇団不労社に所属、第三回公演以降の全作品に出演する。セロリとクリームチーズとシナモンが好き。



りこ／芸術企画夢と祈り

大阪府出身。芸術企画夢と祈り所属。
いろんな会社員に没頭した後、大学時代に沼った演劇が忘れられず、2025年から関西を中心に俳優活動を再開。
直近はロボット役や怒り狂う役に挑戦。様々な役やご縁に心から感謝しつつ、今日も楽しくお芝居します！